

野口小学校

(野口1337 TEL55-2514)

めざす児童像

か し こ く
な か よ く
た く ま し く

○野口小はこんなところ

本校は、市南部にある小学校で、那珂川を南に臨んだ高台にあり、2階教室や校庭からの那珂川大橋の眺めには素晴らしいものがあります。東には緒川が流れ、総合的な学習の時間では、この2つの川を有効に生かしています。

歴史的には、江戸時代に「時雍館」という郷校があった所でPTA広報誌の名前は、そのまま「時雍館」となっています。

各学年1学級の全部で6学級の小規模校ですが、恵まれた自然環境の中で、児童のよさや可能性を最大限に伸ばすために計画的・組織的に学校運営を進めています。



○たてわり班活動

平成17・18年度の2年間、市教育研究会の指定を受け、研究主題を「考え合い、助け合い、高め合う児童の育成を目指して」特別活動における自発的、自治的な異年齢集団活動を通して「とし、研究に取り組みましたが、それ以前から本校では、清掃活動や全校歩く会などでたてわり班活動を行ってききました。

集会活動では以前から自発的態度が見られましたが、この2年間で『あいさつ運動』や『児童による読み聞かせ』などの活動にまで広がりを見せ、自分の考えを積極的に発表しようとする態度が出てきたなどの成果が見られます。児童集会の後では、毎回考え合えたか、助け合えたか、高め合えたかを確認してから終了するようにしています。



○保護者ボランティアによる読み聞かせ

月曜日、火曜日の朝は読書から始まります。月1回は保護者のボランティアによる読み聞かせも行われています。児童はこれを楽しみにしており茨城県で行っている「みんなにすすめたい1冊の本」推進事業では、3年間で300冊以上の読書をした表彰者が2人出たのも、これらの成果かと思われまます。



○PTAによる学習支援授業

本校のPTA活動の特色の一つとして、各学年、学期にほぼ1回、保護者による学習支援授業があります。これは、いろいろな授業の場面を支援するというものです。

18年度の場合、普通授業におけるT.T的な役割の他、校外学習（総合的な学習の時間及び社会科）の際の安全確保・小児生活習慣病予防教室への参加・生活科の植物栽培における講師としての参加などが行われました。

○登下校の安全確保

児童の登下校については、以前から保護者・祖父母の方及び地域の方々のご協力・ご支援をいただいて安全確保がされていましたが、18年4月に御前山地域に区長制が発足したのに伴い、より一層の安全確保を求めて「野口小子どもの安全を守る諸団体連絡協議会」を結成しました。

お陰様で、昨年9月から区長さんを中心に各地区に自主パトロールの組織が立ち上がり、地域の方々に子どもたちの安全確保のための「見守り」の活動を熱心にやっていただいております。

今年2月には、このような日頃お世話になっている地域の方々に感謝をしたり、交流をしたりするイベントとして「野口小ふれあいフェスタ」を実施し、有意義なひとときを過ごすことができました。

